

余の仕事



主婦とイノベーション —奥 キヌ子—

とだらうて得心した。ひらめきは決して荒唐無稽なものではなく、身近な生活の中にある。洗濯用の糸くず取り「クリーニングボトル」は主婦の発明で有名だが、網ネットとジオンを模索してシートゴムボールの組み合わズ探しに奔走している時、たまたま松下電器元副社長の水野先生の言葉に触れた。

「イノベーション」というのは、全く新たな

まさに身近な既存の物が組み合わせによって新しい機能を生み出し始めた。ちょっと不便だなあと感じたら使い勝手など何かいかと考える。こ工夫はなかなかできないなどから

発明発見をいうのではなく、既存の物を組み合わせることによって新しい便益を生むことである。20世紀最大の組み合わせ技術は宇宙旅行船であろう。驚くべき革新的な技術は何一つ含んでいない。革新的なものはその組み合わせだ」と。医薬に門外であるため、開発や発見を大いに構えていたが、余計な力が取れた。発想やひらめきを大事にし、発明王になるはて実現化せよといふ

（レキオファーマ社長）

主婦にはその力と可能性があると感じる。起業のチャンスも大きい。21世紀の革新的な組み合わせを見いだし、発明王になるはあなたかもしだれない。（レキオファーマ社長）